

組合員の皆さんへ

ゾーン議長より メッセージ Message



アリオゾーン議長 野中 真人

コロナ禍に於ける対応が徐々に緩和されて、会社や私たちを取り巻く日常生活に大きな変化があった1年でした。新たな環境変化の中で、組合員の皆さんと一緒に魅力や価値に繋がる組合活動に取り組むことができました。来年度、私たち一人ひとりが参加・参画することで明るい未来を創出していきます。



標準店ゾーン議長 内藤 証

今年度は取り巻く社会環境だけでなく、イトヨーカ堂にとっても大きな変化があった1年でした。そうした状況の中でも、組合員の皆さんの参加・参画により、未来に繋がる新たな魅力ある活動を創出することができました。次年度も組合活動へのご理解とご参加をよろしくお願いいたします。



北海道・東北ゾーン議長 田中 大樹

今年度も組合活動への参加・参画ありがとうございました。私たちを取り巻く環境が大きく変化するなか、今年度は「対話」に重きを置いて活動を進めてきました。今、現状を正しく捉えたうえで、「労働組合として」何が出来るかを考え、行動に移していくことが重要です。引き続き組合活動へのご理解とご参加をお願いいたします。



本部ゾーン議長 鈴木 佳祐

2023年度は、職場環境や働き方が大きく変化する中で、各支部が中心となり組合員同士がコミュニケーションを取る機会として数年ぶりの集合型支部イベントや支部座談会の開催等、活動の見える化に取り組んできました。活動一つひとつに必ず意味があります。次年度も本部で働く組合員みなで活動に参加していきます。



大型店ゾーン議長 丸山 亮人

2023年度は環境が大きく変わった年でした。「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」に転換し、組合活動の進め方も変化しています。会社としても大きな転換期を迎えている中、社内のコミュニケーションの活性化がとて重要で、労働組合の活動を通じて今後もより良い職場環境を共に目指していきます。



小型店ゾーン議長 関 洋亮

会社も大きな転換期を迎えるなか、労使での対話、協議が必要不可欠な1年でした。下期からはコロナ禍での対応状況も緩和され、組合活動も集合形式や顔をあわせての活動が徐々に再開されました。次年度は1年を通して、支部でのイベント・交流会、座談会など組合員同士の対話を積極的に開催していきます。



西日本・信越ゾーン議長 坂 うらら

今年度も、組合員の皆さんには諸活動への参加・参画をいただきましてありがとうございます。取り巻く社会環境や社内環境が激しく変化している中でも、諸活動での交流や取り組みを通じてたくさんの方の対話をさせていただきました。次年度は、コロナ禍も明け座談会や支部イベントなどの交流機会を増やしていきます。

あす
未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていこう

さんか
SANKA!



VOL.
548

令和5年9月20日発行

～2023年度年間活動報告～

あす
より良い未来のために
一人ひとりが
今を変えていこう!



INDEX

- 02 中央執行委員長あいさつ
～2023年度を振り返って～
- 04 2023年度活動方針
- 06 2023春季労働条件交渉
- 07 冬期・夏期一時金団体交渉
- 08 支部活動
- 10 5つ星☆キャンペーン
- 11 ゾーン・グループ活動・会議・研修会・教育
- 14 中央とのコミュニケーション
- 15 上部団体との連携、支部(分会)解散式
- 16 政治活動の取り組み
- 20 ゾーン議長からのメッセージ、第54回定期中央大会告示



ISMとはISM主義であり全ては商売の原点です。
I=挨拶(あいさつ)「挨拶」は、相手に心をひらくこと。「挨拶」は相手に近づくこと=礼儀
S=絆(しつけ)自分の身を美しく見せるという意味。自身を愛すること=自信
M=身嗜み(みだしなみ)容姿・服装・言葉遣い・態度を正すこと=心掛

イトヨーカドー労働組合 定期中央大会告示

組合員 各位
イトヨーカドー労働組合
中央執行委員長 渡邊 健志

下記の通り、第54回定期中央大会の開催を
告示します。

記

1. 日程：令和5年10月6日(金)
2. 場所：東天紅 上野本店
3. 議案：第1号議案
「2024年度活動方針」
第2号議案
「組合規約・規定および内規の改定」他

以上

イトヨーカドー労働組合 中央役員選挙告示

第54回定期中央大会告示にあたり、中央
役員の立候補を下記の通り受け付けます。

記

1. 立候補期間
令和5年9月21日(木)～27日(水)
2. 立候補受付方法
立候補される方は、組合本部へ立候補の
旨を届け出て、所定の用紙に必要事項を
記入・捺印のうえ、選挙管理委員会に提
出するものとする。

以上

令和5年9月14日
選挙管理委員長

セブン&アイグループ労働組合連合会 定期大会告示

組合員 各位
セブン&アイグループ労働組合連合会
会長 渡邊 健志

下記の通り、第45回定期大会の開催を告示
します。

記

1. 日程：令和5年9月29日(金)
2. 場所：東天紅 上野本店
3. 議案：第1号議案
「2024年度活動方針」
第2号議案
「2024年度予算」他

以上

固定観念から脱却し IY再成長に向けた大変革を成し遂げよう

イトーヨーカドー労働組合 中央執行委員長 渡邊 健志

2023年度活動を振り返って

3年以上にわたり、私たちの生活と仕事、組合活動に大きな影響を与えた、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が、2023年5月8日より2類相当から5類に移行されました。想定以上に長期化し、甚大な危機に見舞われましたが、一定の対応力を持って適正な判断ができたのも、ひとえに労使による協力があってのことだと思っています。一方、収束に伴う人手不足や依然として深刻な国際情勢がもたらす世界的な物価上昇と為替の急激な変動による課題は、アフターコロナにおける新たな労使関係の構築を求められています。様々な事情が絡み合う中、人の持つ力やその可能性について追求をしていく時代であることを強く意識させられた1年であったと思います。

今年度の活動スローガンは「未来思考の対話を通じて、より良い未来を創っていこう」とし、不確実性・多様性の時代環境に置かれる中、IY労組の中期ビジョン、IYVISION 2025のもと「組織力・機能性・社会性・連帯感」を深め、高めていくために4つの挑戦を柱に掲げ活動に取り組んできました。IY労組が活動に取り組む上で大切にしてきたことは、私たちが取り巻く環境変化を正しく認識し、目的を持って行動することにあります。そして個々の活動はすべて繋がりを持っているということでもあります。そのことへの理解を深めていただくことで、今年度も組合員の皆さんに多くの活動への参加・参画と一定の成果を得ることができました。2024年度も私たちが取り巻く様々な環境変化を正しく認識し、組合役員の皆さんとの議論、会社・経営との協議と対話を重ね、より大きな成果に繋がるよう取り組んでいきます。

人への投資を通じた生産性向上を

先日、中央最低賃金審議会において、2023年度の最低賃金の引上げ額の目安を全国加重平均で、41円とすることが決定しました。これは過去最大の引上げ幅であり、実際に改定されれば全国平均で時給1,002円となり、初めて1,000円を超えることとなります。これまでも政労使会議の中で、賃上げは新しい資本主義の最重要課題と位置づけられており、その意向を汲む形となりましたが、一方で企業経営における人件費の上昇が大きな負担になること、その上昇分を価格転嫁していくことの難しさが指摘されるなど、懸念の声が挙がっています。今年度の春季労働条件交渉では、歴史的な物価高への世論が追い風となり、物価上昇分を上回る一定の成果を得ることができました。このことが単年度だけの取り組みに終始することなく、早急に構造的な賃上げを確立し、生産性を高めていくための継続的な「人への投資」の重要性を、労使相互で確認していくことが重要です。

サプライチェーン全体で生み出される付加価値を適正に配分する仕組みを作り上げることが、産業・企業、ひいては日本経済全体の持続的な成長に繋がっていきます。今後益々、労働市場における人的価値が高まっていく中で、人材を確保するとともに質向上を図りながら、エンゲージメントを高め合うことが将来的な企業資産となることを引き続き労使による統一的な意思として、確固たる決意を持って中長期的且つ継続的に取り組んでいくことへの理解と協力を宜しくお願いいたします。

イトーヨーカ堂のめざす姿と労働組合の役割

9月1日より、(株)イトーヨーカ堂を存続会社、(株)ヨークを消滅会社とする合併契約を締結し吸収合併が行われ、新たなイトーヨーカ堂として船出をしました。この度の企業統

治・合併の目的の1つは、社内外から迫られている「スーパーストア事業の変革」を完遂し、規模と収益ともに国内トップクラスのポジションを獲得していくこと、もう1つは「イトーヨーカ堂とヨークが一体となり、双方が持つ強みを活かしてお客様ニーズに一層近づき対応していくことで、競合との差別化とムリ・ムダ・ムラを排除し収益成長を実現すること」にあります。現在、進めている時限的なトランスフォーメーション(=変革)に取り組んでいく上で、簡単に進まない問題や難しい課題はありますが、取り巻く環境変化のスピードを考えれば、企業体力のある今、先送りせず何とでも乗り越えなければならない最大のミッションだと捉えています。私たちが迎える今日の時代環境下では、痛みを伴う改革が必要となることへも経営状況を正しく認識した上で協議・対話を通じて対応していかなければなりません。これまでも環境変化を踏まえ、労使協議を通じて厳しい判断にも対応してきました。ただし、その経営判断には社員が将来を描ける「企業の成長戦略」を同時に示すことが不可欠です。そのことを前提に、時限的企業改革では、何より「お客様ニーズに対応した商売のできる社会的責任と価値ある新たな企業づくり」を目指して全社一致・労使一丸となり取り組んでいきます。

創業の精神と健全な労使関係を堅持し 新たな道を創造しよう

去る2023年3月10日にイトーヨーカ堂の創業者である、伊藤雅俊名誉会長がご逝去されました。今日まで良好且つ健全な労使関係があるのも、一重に伊藤名誉会長の深い恩愛の情によるものと思います。また、伊藤名誉会長の「信頼と誠実」という創業の精神を自ら体現された経営姿勢が、今日のグループの社風を育てました。このことは後進世代に遺された何よりの財産です。ここに、組織を代表し、ご生前のご厚情に深く感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

「イトーヨーカドーグループに働く社員の皆さんが、まじめに物事を考え、下手でもコツコツと積み重ねていく誠実な社風を作ってくれたことは会社の誇れる財産であり、維持し続けていかなければならない最も大切なものです。これから先の未来は価値観の変化により、生きがい・やりがいの考え方も変わっていくことでしょう。そういう時こそ労使双方が一丸となり、誠意と時代を先取りする気構えを持って問題の解決にあたり、より強固な信頼関係を作り上げていただくことが私の念頭であります」。

(1979年イトーヨーカドー労働組合 結成10周年 寄稿文より)

上記はイトーヨーカドー労働組合の結成10周年を記念して作成された記念誌に、当時の伊藤社長が寄せられたメッセージの引用です。40年以上も前のメッセージですが、現在のグループ変革にある私たちに向けられた言葉でもあるように感じます。この先も社会の変化に伴いお客様のニーズも変化し、そのことに対応していかなければなりません。「労使は映し鏡であり、どちらかだけが成長することはない」つまり、労使はそれぞれの役割を果たしつつ、一丸となって組織の持続的な成長と発展をめざし続けていかなければなりません。2024年度は過去経験したことのないトランスフォーメーション(=変革)に会社一致で取り組む年になります。これから創る新たな時代は、私たち自身の手で創り上げていくという意味と主体的な行動で掴み取るという気概無くして得られることは叶いません。如何なる変化にも応じることの出来る真の強い組織づくりをめざして、活動を推進していきたいと考えています。これまでも増して皆さんの積極的な活動への参加・参画を宜しくお願いいたします。

2023年度活動方針

2023年度
活動
スローガン

未来思考の対話を通じて、 より良い未来を創っていきましょう

先行きの見通しが見えない「不確実性の時代」が続く中、私たちイトーヨーカ堂(以下、IY)においても、変化を正しく捉えスピード感のある対応が求められます。また、スピード感を持った「変化への対応力」に加え、IYが創業以来こだわりをもって大切にしてきた「基本」に立ち返り、それを徹底することでIYの基盤を強化していかなければなりません。働く私たち一人ひとりが「何のために」「誰のために」という視点を見失うことなく、取り組みを継続していくことが最も大切です。

先行きが不透明な不確実性の時代に求められる「協議や対話」の在り方は、

目指す共通目的のもと、それぞれが自分の立場や責任を適切に捉えながら、
考え方の協力により未来思考に立って協議や対話を行うこと

このことをあらゆる場で意識することで、問題の本質を追求し、双方の合意形成を高めることのできる質の高い対話になり、労働組合の組織機能の発揮にも繋がっていくと考えます。

労働組合が過去から大切にしてきた「涸れた井戸からは水は汲めない」という基本的な考え方を全組合員が一にして、未来思考の対話を通じてより良い未来を共に創っていきましょう。

2023年度の活動を推進していく基本姿勢

イトーヨーカドー労働組合が目指す中長期的に実現したい姿「一支部一組合の確立」に繋がる真の強い組織基盤づくりに向けて、組合員の参加・参画のもと、これら3つを心掛けて活動に取り組んでいきます。

- 組織に活力を創出させ成長や発展を促す「魅力や価値を生み出す活動」
- 改善行為や組織堅持に繋がる「問題意識を持った活動」
- 課題の本質や現場の実態を正しく認識する「組合員に近づく活動」



《IY VISION 2025》 4つの挑戦における重点取り組み事項



2023 春季労働条件交渉

労働組合は「雇用の確保」と「労働条件の維持・向上」をめざし、会社と交渉を行っています。今年度も春季労働条件交渉では賃金をはじめとする労働諸条件について交渉しました。また、現場の実態や発生している課題について「現場実態と組合員の声」を共有し、課題解決に向けて協議を行いました。

ナショナル・エリア組合員 総額一人平均 7,138円 (2.01%) 賃金体系維持分 4,098円 (1.15%) + 賃金改善分 3,040円 (0.86%) 賃金改善内訳：年齢給改定・職種手当改定・初任給改定とそれに伴う職務職能給への加算	フィールド組合員 総額一人平均 6,229円 (2.55%) 賃金体系維持分 2,341円 (0.96%) + 賃金改善分 3,888円 (1.59%) 賃金改善内訳：地域本人給改定・職務職能給への加算・職種手当改定
--	---

パートナー組合員 総額一人平均 33.56円 (3.07%) 賃金体系維持分 21.89円 (1.99%) + 賃金改善分 11.67円 (1.08%) 賃金改善内訳：評価本人給への加算・ステップアップ給の改定・職種加給と本人特別給の改定
--

賃金改定・改善内訳（一部抜粋）

ナショナル・エリア組合員／年齢給改定

年齢給を、下記の通り改定する。 *2023年4月1日現在の年齢

年齢	現在の金額(円)	改定金額(円)	年齢	現在の金額(円)	改定金額(円)
18歳	65,750	67,750	25歳	78,000	80,000
19歳	67,500	69,500	26歳	79,750	81,750
20歳	69,250	71,250	27歳	81,500	83,500
21歳	71,000	73,000	28歳	83,250	85,250
22歳	72,750	74,750	29歳	85,000	87,000
23歳	74,500	76,500	30歳以上	86,750	88,750
24歳	76,250	78,250			

ナショナル・エリア組合員／初任給改定

初任給を、下記の通り改定する。 単位:円

学歴	社員群	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	増分
四年大学卒	ナショナル	207,000	210,000	217,000	217,000	217,000	220,000	230,000	10,000
	関東広域エリア	196,500	200,000	206,500	206,500	206,500	209,500	219,500	10,000
短大・専門学校卒	関東広域エリア	177,000	180,000	192,000	192,000	192,000	195,000	205,000	10,000
高等学校卒	関東広域エリア	165,000	168,000	182,000	182,000	182,000	185,000	195,000	10,000

《年齢ごとの職務職能給への加算(NA社員)》

初任給改定(例:N社員 四年大卒初任給220,000円⇒230,000円)に合わせ、NA組合員は年齢給上昇対象となる若年層の職務職能給に下記の表の通り加算を実施する。 単位:円

年齢	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
加算	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	7,500	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000

フィールド組合員／地域本人給改定

地域本人給を、下記の通り改定する。また、年齢ごとの金額設定は廃止し、全年齢金額を統一する。

【新制度】 単位:円

年齢	地域	北海道	青森・宮城	岩手・福島	栃木	山梨	長野・岐阜	首都圏 (圏外組合員)	静岡	愛知	兵庫	大阪
全年齢		108,000	100,000	95,000	110,000	103,000	107,000	140,000	114,000	122,000	116,000	130,000

付帯項目

要求項目	会社回答
職種手当の改定(NAF社員)	職種手当の改定を実施する 登録販売従事者：15,000円⇒20,000円 生鮮従事者(精肉・鮮魚・惣菜)：2,000円⇒3,000円
一時金支給月数の見直し(シニアP社員)	2023年夏期一時金支給時より、シニアP社員のセルフチェック評価R1～R4評価者(R5評価者除く)に対し、年間の支給月数を0.05ヶ月(半期0.025ヶ月)引き上げる。

法改正・労働環境整備に関する対応

要求項目	会社回答
勤務間インターバル規制時間の見直し	2023年4月1日より、勤務間インターバル規制時間を11時間へ改定する。
副業・兼業の導入に向けた各種制度の点検と整備	従業員の働きがい・やりがい・生きがいにつなげること、また、多様性を受け入れた働き方を実現していくことを目的として、2023年4月1日より、NAF嘱託社員を対象に副業制度を導入する。
「リ・チャレンジ制度」の改定	育児プランの「午後7時までに勤務終了プラン」の取得満了期間を中学校卒業までに改定する。 治療(不妊・がん・腎疾患)と仕事の両立プランを新設する。

※詳しくは「会社通達」もしくは「さんかVol.546」をご確認ください。

冬期・夏期一時金団体交渉

今年度の冬期・夏期一時金の算定期間における数値状況はどちらも支給係数表の枠外であり、制度上の係数表に当てはまらないため、別途交渉となりました。夏期一時金については食料品や電気代などの物価上昇による組合員の生活不安を伝えるとともに、労使協働の生産性向上の取り組みとして「5つ星☆キャンペーン第2弾」を提案しました。継続した労使交渉の末、組合員の生活不安に対する会社側の理解、「Will Change」を合言葉に3年後の目標を達成し、1Y再建に労使が一丸となって取り組んでいくことを確認し、夏期一時金交渉の妥結に至りました。



一時金支給係数

冬期一時金	支給係数	支給日	夏期一時金	支給係数	支給日
ナショナル・エリア組合員	71%	12月9日(金)	ナショナル・エリア組合員	73%	7月7日(金)
フィールド組合員	86%	12月9日(金)	フィールド組合員	87%	7月7日(金)
パートナー組合員	89%	12月28日(水)	パートナー組合員	90%	7月28日(金)

支部活動

支部大会

定期中央大会、臨時中央大会と連動して開催し、中央大会にて決議された活動方針や春季労働条件交渉の要求内容などについて共有・報告することを目的として各支部にて開催しました。



支部集会

活動方針や春季労働条件交渉要求内容など、中央大会で決議する内容や組合活動に関する意見を集約することを目的として各支部にて開催しました。



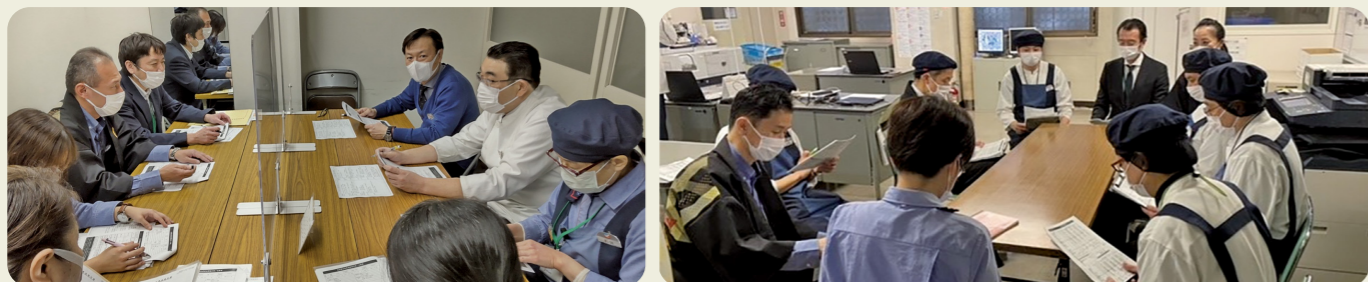
支部座談会

働きやすく、働きがいのある職場環境の実現に向けて、支部座談会を通じて現状の課題に対する組合員の意見や提案を集約し、課題解決の場である「支部労使協議会」にて協議していくことを目的に開催しました。



支部労使協議会

支部座談会や日頃のお世話活動を通じて挙がった現状の課題に対する組合員の意見や提案について、店幹部に伝え、課題解決を図り、職場環境を改善することを目的として開催しました。支部では解決できない問題・課題は中央・ゾーンに伝え、解決できる階層での労使協議会を通じて協議を行いました。



IVY 募金活動

IVY募金活動は「ボランティアの精神を持つことは社会人にとって重要なことである」という考えのもと取り組んできた活動です。地域社会に感謝の気持ちを表すための社会・地域貢献活動として、冬・夏の一時金支給時を重点実施期間として取り組んでいます。今年度も活動の趣旨・目的を多くの方にご理解いただき、ご協力いただきました。



募金金額

冬: 2,983,825円

夏: 2,879,894円

合計: 5,863,719円

アニバー サリー メッセージ

今年の春に小学校・中学校へ入学する組合員のお子さんと同居のお孫さんへ、お祝いのメッセージとともに記念品を贈呈する「アニバーサリーメッセージ」を実施しました。記念品のお渡しは「記念品授与式」を各支部にて開催し、支部のお祝いイベントとして取り組みました。今年度は590名のお子さん、お孫さんが入学されました。

小学校: 253名 中学校: 337名

合計: 590名



支部 イベント ・交流会

支部でのコミュニケーション機会の創出を通じて、風通しの良い職場環境や団結力の醸成をめざしています。各支部が趣向を凝らし、様々なイベント・交流会を立案し、開催しました。下期は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ引き下げになったことによる会社の規制緩和に伴い、事業所外で集合する形式や飲食を伴う形式での開催が叶いました。



中央活動

労使協働生産性向上運動「5つ星☆キャンペーン」

1Yの再成長をめざす今だからこそ「涸れた井戸から水は汲めない」という労働組合の基本的考え方のもと、1Yで働く従業員が自社で買い物をする風土を醸成し、顧客視点を持つことで、お客様に喜ばれ、信頼される店舗づくりへつなげていくことを目的に「5つ星☆キャンペーン」を開催しました。また、キャンペーンを通じて、従業員自身があらゆる面において「5つ星」への磨き上げをめざしました。



5つ星☆キャンペーン
～1Yの魅力再発見～

★「良いもの体験」を通じて感じたことをもとに、「良い提案・良い発案」につなげていくこと。
★1Y従業員から求める、認められること。より「良いMD提案」へ活かしていくこと。
★「良い商品・良い提案・良い発案」により、「お客様に喜ばれる良いもの提案」を実現する。

内容 数種MD「オススメ商品」を買い回って、買って、MDに高評価のコメントを記入し、応募ボックスへ応募！

応募期間 2023年5月8日(月)～5月31日(水)

対象 イトヨーカ堂に勤める全従業員

応募方法 購入した商品番号と満足度(5段階評価)に、おつづけて、商品に対するコメントを記入し、応募BOXへ応募しよう！

賞品 「売場販売部長オススメ商品」

詳しくは「専用応募用紙」をご覧ください！

労使協働生産性向上運動「5つ星☆キャンペーン 第1弾」

開催期間/2023年5月8日(月)～5月31日(水)
開催内容/☆食品事業部の各MDおすすめの商品(グロスリー部、マルシェ部、デリカ部から各1点ずつ計3点)を買い回り、商品に対する満足度(☆1～5)とコメントを専用応募用紙に記入の上、各支部の応募BOXに投函する。
☆応募者の中から抽選で賞品を贈呈する。☆商品に対する満足度の平均が高いMDを表彰する。

グロスリー部 満足度第1位 ☆4.3獲得「セブンプレミアム グランアンデス」 グロスリー部MD 高橋 洸貴さん



受賞コメント
選定いただきありがとうございます。お酒のある食卓シーンの提案など、お客様の求める商品開発を通じて、店舗の売上・売上に貢献できるよう、努めていきます。



☆5評価者コメント
酸味と渋みのバランスが丁度よく、コスパも良いです。私は調理酒として愛用しています。

マルシェ部 満足度第1位 ☆4.2獲得「セブンプレミアムフレッシュ 刺身用アトランティックサーモン」 マルシェ部MD 谷川 佑介さん



受賞コメント
表彰いただきありがとうございます。今後も生産者の熱い思いをお客様に届けつつ、味の追求や持続可能な水産調達に取り組んでいきます。



☆5評価者コメント
私も家族も大好きな商品です。コスパも良く大満足です。私はお酒のつまみに、子供は丼にして食べています。

デリカ部 満足度第1位 ☆4.4獲得「魚河岸握り漬」 デリカ部MD 中村 文彦さん



受賞コメント
高評価をいただきありがとうございます。ネタの食感やシャリの酸味や香りにこだわりながら、お客様にとって「いつでも安心して食べられる美味しいお寿司」を目指し続けます。



☆5評価者コメント
1Yのお寿司大好きです。何か良いことがあった時は家族分を購入し、みんなでワイワイ美味しく楽しく食べています。

※職責は当時

～支部で活動に取り組んでみて～

自分たちが働くお店をさらに良いお店にしていけるためのきっかけの一つとして「5つ星☆キャンペーン」に全従業員で取り組みました。ミーティングや朝昼礼を活用し、趣旨・目的を丁寧に説明し、理解をいただいたうえで取り組むことで、自店で買い物をする風土づくりに繋げることができました。

武蔵小杉駅前支部 支部執行委員長 吉田 朋史



	応募件数	応募率	参加人数	参加率
アリオゾーン	1,106件	30.6%	1,056名	29.2%
大型店ゾーン	2,478件	29.9%	2,157名	26.0%
標準店ゾーン	1,013件	17.8%	950名	16.7%
小型店ゾーン	1,048件	28.7%	947名	25.9%
北海道・東北ゾーン	1,109件	41.5%	1,022名	38.3%
西日本・信越ゾーン	614件	21.1%	553名	19.0%
本部ゾーン	289件	12.8%	249名	11.1%
全ゾーン計	7,657件	26.3%	6,934名	23.9%

ゾーン・グループ活動・会議・研修会・教育

ゾーン労使協議会

販売事業部労使懇談会にて確認した労務・就業管理の課題や、「改善＝工夫」運動などの取り組みについて、各ゾーンで発生している業務の生産性を妨げる諸課題や、良い取り組み事例などを共有し、具体的な方針や取り組みを協議・確認しました。ゾーン労使協議会にて決定した方針や取り組みは各支部に発信し、支部労使協議会にて支部ごとの課題の改善・解決に向けた協議・確認を経て、具体的な取り組みへとつなげています。今後も中央・ゾーン・支部と各階層の定期的な労使協議会を通じて、様々な問題・課題の解決を進めていきます。



ゾーンIVY活動

各ゾーンの事業所近隣の福祉施設のお困りごとの解決など、ボランティア活動を通じて、地域との関わりや同じ地域で働く参加者同士のつながりをつくることができました。



旧 東海京浜・多摩武蔵ゾーン
【日産ふれあいロードレースボランティア】
2023年3月4日(土)



アリオ・標準店・小型店ゾーン
【富士見乳児院清掃ボランティア】
2023年7月13日(木)



本部ゾーン
【二葉乳児院清掃ボランティア】
2023年1月21日(土)、8月26日(土)

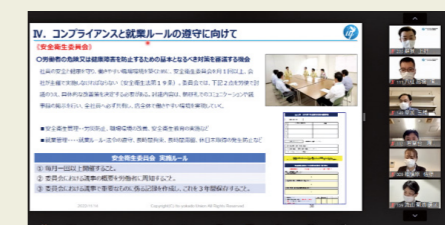
グループ支部執行委員長会議

活動方針や年間活動計画、予算計画に対する執行状況を確認し、支部活動のフォローや情報交換・共有をすること、また春季労働条件交渉や次年度活動方針、支部活動等に関する支部の意見集約の場として開催しました。中央と支部がより細かな連携を取って活動を推進すること、また組織運営のフォロー・サポート体制の強化を図るために開催しました。



1Yユニオンカレッジ

労働組合の基礎知識や役割に応じた活動の進め方などを習得すること、また支部を超えた組合員同士のコミュニケーション機会を創出することを目的として1Yユニオンカレッジを開催しました。今年度は新たに支部執行副委員長(パートナー組合員)を対象とした1Yユニオンカレッジを開催し、人材育成を通じてより活発な支部活動をめざしました。



～若手組合員の活動～

イトーヨーカ堂で活躍する若手組合員に関する各活動をご紹介します！

新入組合員研修会

2023年度の新入社員を対象として、労働組合への加入を歓迎し、労働組合への理解と見識を深めることを目的に開催しました。今年度は20支部66名が参加し、「次の100年先のIYは私たちが創る」をテーマに社会環境や自店の特色を加味したうえで、自由な発想で50年・100年後のIYは私たちが創るという意気込みのもと、事前に作品を制作し、プレゼンテーションを行いました。同期同士で作品づくりを行う過程で、「社会環境」や「自店の地域や歴史」を知り、そして「発想力」「提案力」「コミュニケーション力」を高める機会となりました。当日は会社を代表し、荒川管理本部長にご出席いただき、新入社員にむけて「思い込みや常識を打ち破る」をテーマにご講演をいただきました。



手作り模型を作成し、プレゼンテーションを行った支部もありました！



開催日程/2023年6月30日(金)
開催場所/角筈区民ホール

参加者の声！

和光支部/伊藤 駿佑さん

チームで一つの意見にまとめることが難しかったですが、小売業に対しどのような需要が増加していくのかを経営視点で考える良いきっかけになりました。

新入組合員研修会
(2年次・3年次)

定期入社2年次・3年次の組合員を対象に、労働組合の教育機会として定期研修会を開催しています。組合活動への参加・参画や同期同士のコミュニケーション機会として開催しました。2年次研修会では、労働組合の基礎知識(専門用語や概要)を学び、3年次研修会では、「今後のキャリア」についてを考えるきっかけづくりとして、「ワークショップ」をゲーム形式で行い、同期の仲間と楽しみながら学びました。



新入組合員研修会(2年次)



新入組合員研修会(3年次)

参加者の声！(3年次)

アリオ西新井支部/藤井 理奈さん

「キャリア開発ワークショップ」はゲーム形式でわかりやすく、若いうちから自己啓発に取り組む必要性を感じました。

参加者の声！(2年次)

大井町支部/三宅 悠介さん

研修会を通じて、改めて自分の価値観を再認識することができました。また、これから進むべき道がわかりやすくなり、参考になりました。



新入組合員研修会(2年次)

開催日程/2023年7月19日(水)
開催場所/T K P市ヶ谷カンファレンスセンター
参加人数/48名

新入組合員研修会(3年次)

開催日程/2023年7月10日(月)
開催場所/T K P市ヶ谷カンファレンスセンター
参加人数/38名

ゾーンスタッフミーティング

若手組合員自らの発想で交流会を企画・運営することを目的に開催し、具体的なテーマや内容について議論しました。また、若手組合員に関する研修会などのサポートメンバーとしても活躍しました。

※ゾーンスタッフとは
“35歳以下のNAF若手組合員”で構成されたゾーン活動のサポートメンバー



参加者の声！

お届け支部/藤代 國忠さん

普段の業務では接点のない同世代の仲間と一緒に、イベントの立案や会話をすることで、違った視点を得られ、自分の大きな刺激になっています。



首都圏グループ

回数	日程	開催場所	参加人数	主な内容
第1回	2023年6月15日(木)	AP西新宿	13名	・チームビルディング「価値観共有ゲーム」 ・リーダー研修
第2回	2023年7月6日(木)	Zoomを使用したリモート開催	8名	・若手組合員交流イベント計画
第3回	2023年8月24日(木)	AP東京八重洲	17名	・若手組合員交流イベント

本部ゾーン

回数	日程	開催場所	参加人数	主な内容
第1回	2023年6月9日(金)	四ツ谷本部 従業員食堂	5名	・ゾーンスタッフ活動について
第2回	2023年7月6日(木)	四ツ谷本部 従業員食堂	7名	・若手組合員交流イベント計画
第3回	2023年7月27日(木)	Zoomを使用したリモート開催	6名	・若手組合員交流イベント計画
第4回	2023年8月19日(土)	マイスペース四谷	8名	・若手組合員交流イベント

中央とのコミュニケーション

中央労使協議会

業績(利益)向上に向けた議論と協議、現場実態や組合員の声で挙がっている問題・課題を解決することを目的に開催しています。今年度は「Will Change(首都圏SST事業変革プログラム)の施策に対する不安の声」を経営に直接伝えました。支部・ゾーンで解決できない現場実態や組合員の声については、中央労使協議会にて共有協議し、課題の解決や改善をめざしています。

Will Changeに関する組合員の声(抜粋)

首都圏店舗の声

- ・会社の方向性や進む道筋は理解できたが、会社として従業員の処遇をどのように変化させていくのか伝わってこない。
- ・IYとYOが合併するメリットや効果、会社の決意を感じることはできたが、具体的な事例やシミュレーションが無かったため、イメージを描きにくい。
- ・「痛みを伴う」ことが示す内容について不明確であり、モチベーションが下がり、不安だけが残っている。すでに店舗は限られた人員の中で拘束時間も増え、疲弊している実態を認識してほしい。様々な方針に向かって必死に取り組む従業員を「褒める」意識の変化が必要なのではないか。

など

地方店舗の声

- ・地方店舗についての説明が無く、地方で働く従業員は不安が募っている。地方店舗の従業員が安心して働けるよう地方店舗の今後について説明していただきたい。
- ・地方店舗はセルフレジやデジプラをはじめ、生産性向上施策の多くが導入されていない。業務の削減は全社一律ではなく、このような状況も配慮された取り組みとしていただきたい。

など

販売事業部労使懇談会

環境変化への対応に向けた労使による意見交換や共通認識を醸成すること、また、労働条件の向上に向けた具体的な取り組み内容を確認することを目的に開催しています。支部・ゾーンで発生している現場実態や組合員の声を共有し、販売事業部としての方針や取り組みを確認しました。また、各ゾーンや店舗にて取り組んでいる内容の共有等を通じて、労使が共通の認識を持って課題解決していくことを確認しました。



労使座談会

IY再建に向けて、全従業員が「これからの成長戦略」を正しく理解し「全社一致で行動すること」が求められる中、新たな経営とのコミュニケーション機会として、労使座談会を開催しました。座談会では、会社がめざす方向性や現場視点で捉えた課題への対応など、多岐に渡る内容について意見交換し、全従業員の正しい理解につなげていくことを目的に開催しました。(詳しくは「さんかVol.547」をご確認ください。)



上部団体との連携

UAゼンセン

■北朝鮮による「日本人拉致被害者全員の一刻も早い救出を!」求める請願署名

組合員、そしてご家族の方々にご協力をいただいた、北朝鮮による「日本人拉致被害者全員の一刻も早い救出を!」求める請願署名合計60,994筆を2023年3月16日(木)にUAゼンセン本部に提出しました。UAゼンセンでは、北朝鮮による拉致被害者が組合員の仲間にいることから、2002年から署名・カンパ・啓発活動を行い、一刻も早い救出を求めています。その中で、2022年12月から2023年2月を強化月間として署名活動に取り組んで参りました。この問題を風化させることなく、一刻も早くすべての日本人拉致被害者が救出されるよう今後も上部団体であるUAゼンセンと協力し、活動を進めていきます。



セブン&アイグループ労働組合連合会

■労使研究会

流通・サービス産業、グループの発展を目指し、グループ各社の経営幹部と各単組の中央役員が共通の課題認識を持ち、知識・見識を高める場として開催されました。イトーヨーカドー労働組合からは中央執行委員が出席し、各企業やグループ全体の労使が共通認識を持つことで、健全な労使関係の構築をめざしています。

開催日程/2023年6月29日(木)
 開催場所/伊藤研修センター
 開催内容/基調講演
第一部<<理念とビジョンによる行動変革>>
 株式会社マザーハウス代表兼チーフデザイナー
 山口 絵理子 氏
第二部 <<ポストコロナ、新時代における労使の取り組み>>
 UAゼンセン流通部門副事務局長 瀬戸 哲朗 氏

支部(分会)解散式

事業所閉鎖に伴い、支部が最後に実施する活動です。共に支え合い、楽しく働いた店内で支部解散式を開催し、記念品の贈呈を行いました。

ケント千葉そごう 分会解散式

2022年12月2日(金)、ケント千葉そごう分会がショップ閉店に伴い、解散式を行いました。ケント千葉そごうは、「高感度・高品質」をテーマにした、「大人の男性のトラッドスタイル」をコンセプトに2014年9月5日に千葉そごう店内にショップとして出店しました。労働組合としては、ライフスタイル支部の分会という位置づけで山本分会長を中心に4名の組合員に活動していただきました。解散日となる営業最終日には、山本分会長から挨拶と組合員への記念品のお渡しを実施しました。

8年間の営業
大変お疲れ様でした!



竹の塚支部 支部解散式



2023年3月5日(日)の竹の塚店閉店に伴い、支部解散式を行いました。

支部解散式では、佐久間支部執行委員長からの挨拶と最後の支部イベントを実施しました。45年間の営業大変お疲れ様でした!

閉店セール中は竹の塚店が地域の方々に愛されていたお店であることを改めて実感するとともに、竹の塚店全従業員の頑張り、そして皆様のご協力もあり、大きな事故もなく、無事に営業を終えることができました。支部は解散になりますが、竹の塚店で得た多くの経験を活かし、それぞれの新天地で頑張っていきましょう。本当にお疲れ様でした。



支部執行委員長 佐久間 理香

開催日:2023年3月9日(木) 開催場所:竹の塚店店内 参加人数:142名

2025夏の決戦に向けて!「田村 まみ」の推薦を決定!

「イトーヨーカドー労働組合の力を結集し再び国会へ送り届けよう!」

2023年8月22日(火)、イトーヨーカドー労働組合第14回中央執行委員会において、2025年7月施行予定の第27回参議院議員選挙の候補者として「田村 まみ」参議院議員の推薦を決定いたしました!

私たちは上部団体であるUAゼンセンと連携し、「流通産業の健全な育成と発展」「流通産業とそこで働く労働者の社会的地位の向上」「組合員の豊かな暮らしと幸せ実現」を目標に活動を進めています。「年収の壁問題」「カスタマーハラスメント対策」など、企業労使で解決が難しい問題は政治の場に解決を求めていくことが欠かせません。

政策実現には、法律の改正、政治や国・省庁・地方行政への働きかけが不可欠です。そのためには、私たちの声を国政に届ける国会議員の力なくして実現はできません。私たちの代表「田村 まみ」は2019年の当選以降、小売業の抱える問題・課題を国会で訴え続け、世論を喚起しながら、政策を着実に進めています。

イトーヨーカ堂や流通産業の課題解決、そして「働く仲間の笑顔のために」イトーヨーカドー労働組合の仲間の力を結集し、「田村 まみ」必勝に向けて全力で取り組みましょう!

働く仲間の笑顔のために

職場環境

カスハラやパワハラ、給与、働き方など労働環境のお悩みやご意見



子育て

保育施設や児童手当、教育環境など子育ての困り事やご意見



暮らし

各種控除や手当など暮らしの中で発生するお悩みやご意見



介護

介護休暇、社会保障費など介護に関する困り事やご意見



田村まみ プロフィール

1976年4月23日生まれ 広島県広島市出身
家族構成:夫 趣味:野球観戦・アロマテラピー
大切にしている言葉:「選択と挑戦」

学歴

小学校:広大付属東雲小学校
中学校:広島女学院中学校
高校:広島女学院高校
大学:同志社大学 神学部

職歴

1999年:ジャスコ株式会社入社(現イオンリテール株式会社)
※主に店舗の食品を担当
2002年:イオンリテール労働組合
2019年:第25回参議院議員選挙全国比例区で初当選

所属委員会

厚生労働委員会、議院運営委員会、消費者問題に関する特別委員会

わたしたちの参議院議員
田村まみ

働く「仲間」の「笑顔」のために



国会議員としての4年間の主な活動

国会での質疑の総数122回!働く仲間との交流2,154回!



2019年 7月

第25回参議院議員選挙にて26万324票で当選!

2020年 3月

新型コロナウイルス感染症対策におけるカスタマーハラスメントの実態を安倍晋三首相(当時)に質す!

2020年 12月

国会議員を対象にしたカスタマーハラスメント実態調査報告集会を開催。衆議院、参議院合わせて約100名の議員、報道陣50名が参加。

2021年 8月

厚生労働省がカスタマーハラスメント対策等の推進に向け2022年度の予算に3,000万円を計上。

2022年 2月

厚生労働省が企業向け対策マニュアルやリーフレット、啓発ポスターを作成。

2022年 5月

カスタマーハラスメント対策法案を「かわい たかのり」参議院議員と共に提出。

2022年 7月

第26回参議院議員選挙にて「かわい たかのり」「堂込 まきこ」が当選。

2023年 3月

予算委員会にて「年収の壁」問題の解消実現に向け岸田文雄首相へ質疑を行う。

田村まみ SNSリンクまとめ

こちらから各種SNS・公式ホームページにアクセスできます



2023政治活動の取り組み

2023統一地方選挙への参画

第53回定期中央大会にて「第20回統一地方選挙必勝決議」が満場一致で承認され、2023統一地方選挙への参画がスタートしました。2023統一地方選挙が4月に施行され、イトーヨーカドー労働組合として推薦決定した85名の候補者のうち74名が当選、UAゼンセン流通部門組織内議員5名全員が当選を果たしました。

各地域においては中央執行委員をはじめとして多くの組合員が政治活動に参画し、各支部では候補者の受け入れや推薦はがきの応援等にご協力いただき、候補者の当選に大きく寄与しました。また、政策活動への参画を通じて、より身近に感じることができました。

現在も埼玉県議会や川越市議会、足立区議会、板橋区議会等々各自治体議員との政策実現に向けた情報交換を実施しています。



中央執行副委員長 佐藤 洋一



土浦市議会議員「おくやかし」



福岡市議会議員「近藤さとみ」



街宣演説ボランティアに参加する森島中央執行委員



車上運動員ボランティアに参加する武中央執行委員(左写真)、吉田中央執行委員(右写真)



電話ボランティアに参加する岩本中央執行委員



電話ボランティアに参加する平山中央執行委員

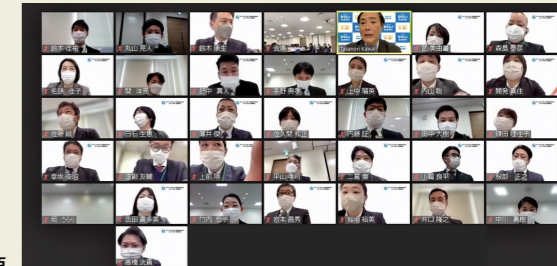
社会保険料、収入の壁問題に関する国政報告会

目的 組合役員と組織内議員との意見交換を図る

日程 2023年2月1日(水) *第6回中央執行委員会内にて

対象者 中央執行委員

内容 組織内議員川合孝典参議院議員より社会保険料、収入の壁問題に関する現状の課題認識や取り組みについて報告会を開催



組織内議員との政策懇話会

目的 身近な政治活動として組合役員と組織内議員との意見交換を図る

日程 2023年1月20日(金) *第2回社会貢献・政治活動推進委員会内にて

対象者 中央執行委員:社会貢献・政治活動推進委員

内容 組織内議員川合孝典、田村まみとの意見交換として座談会形式で政策懇話会を開催



詳しくは「さんかVol.546」をご確認ください。

組織内議員との政策懇話会

目的 身近な政治活動として組合役員と組織内議員との意見交換を図る

日程 2023年7月13日(木)

内容 埼玉県庁を視察し、埼玉県議会議員水村あつひろ、山根ふみ子との意見交換として政策懇話会を開催

対象者 中央執行委員:社会貢献・政治活動推進委員

